

海外赴任前の対策は強化の一方、 赴任中はやや後退

第2回「海外健康・医療」定点観測アンケート集計結果 **抜粋**

(一社)日本在外企業協会(日外協)海外健康・医療センターは、「海外健康・医療」定点観測アンケートを実施。前回 2024 年度の調査に続き 2 回目となる。その中から一部抜粋してご紹介する。

一般的に前回調査と比べ、組織体制が強化されていることが分かる。一方で、赴任中の健康管理、帯同家族への対応については、引き続き改善を検討しなければならない課題であることが浮き彫りになった。

アンケート概要

- 調査実施期間：2026 年 6 月 4 日～7 月 10 日
- 回答企業数・回答率：112 社（回答率 50.9%）
- 回答者の職種：医療職 24 人、非医療職 88 人*
- その他：単一回答：構成比(%)で比較（※合計 100%になる）
複数回答：回答率(%)で比較（※合計 100%にはならない）

*医療職：産業医、保健師・看護師・薬剤師・臨床心理士ほか 非医療職：海外人事部門、海外健康管理部門ほか

■ アンケートの質問項目

1	組織体制	海外健康・医療を所管する責任者の役職、専任組織の有無、担当する部隊の所属先
2	医療スタッフ体制	社内産業医、保健師・看護師・薬剤師・臨床心理士等
3	医療保険	地域別に採用している医療保険の主な枠組み
4	海外出張者対策	海外出張者の出張期間、出張者の把握、健康管理体制
5	海外赴任前対策	赴任前(定期)健康診断(本人／帯同家族)対策、ストレスチェック、赴任決定プロセスの実態調査、啓発・教育、予防接種の運用等
6	海外赴任中対策	赴任中健康診断(本人・帯同家族)対策、ストレスチェック、会社サポート体制等
7	外部委託の活用状況	どのような分野で活用しているか
8	課題	海外健康・医療取り組み推進上の最大の課題（自由記述）
9	課題の検証および改善策	誰が、いつ、どのように（自由記述）
10	日外協 海外健康・医療センターに期待すること（自由記述）	

■ アンケートの質問数：全 82 問

内訳：海外健康・医療に関わるもの 68 問、回答会社の基本情報と規模・体制に関わるもの 13 問、日外協への期待など 1 問